

一般質問

・地域包括ケアシステムの
早期体制整備について



阿南 澄男

問

市民の意識転換と市民参加の介護予防、市民による生活支援を促す施策は

答

「地域包括ケアシステム」は、医療・介護の専門職によるサービス提供に加え、高齢者と生活を共にする「地域の皆さん」による支援があつて成り立つものです。「介護予防・生活支援」対策として、身近な地域で支え合う「互助」の仕組みを作り、定着させていくことが必要であり、課題であると考えています。地域で介護予防教室を主宰するボランティアの養成を図るとともに、リハビリ専門職を活用して事業の充実を図つて参ります。生活支援につきましては、29年度から「ささえあいサポーター養成講座」を開催しています。今後も広く市民の皆さんから受講希望者を募る予定です。

問

「地域包括ケアシステム」は、地域づくりにもつながるものであると考えますが、市民

全体を巻き込むための方策は

答

地域とは一つの家族体であると考えており、互いに支え合う組織をつくっていくことは、将来の地域づくりに繋がるものであると考えています。2025年には、認知症の高齢者は全国で700万人と推計され、団塊の世代は75歳に到達します。訪問診療・訪問看護・リハビリなど地域で一体的に提供する包括ケアシステムづくりが必要と考えます。今後、市でも講座なども設けて取り組んでまいります。



まつぼっくりサークル（高松地区）運動教室

一般質問

・市内小中学校のトイレ洋式化
推進事業について及び
その財源について



齋藤 洋

問

近隣3市に比較し、遅れが目立つ市内小中学校のトイレ洋式化事業の推進について

答

29年度当初の小中学校の洋式化率は33%です。本年度は、浜岡地区の小中学校のトイレ洋式化工事を完了し、第一小学校が68.8%。浜岡東小学校が69.4%。浜岡北小学校が73%となりました。来年度に御前崎小学校、白羽小学校のトイレ洋式化工事を予定しています。御前崎中学校は31年度に、浜岡中学校は建てかえ時に実施予定です。

問

洋式化率19.2%は県内で下から3番目に低い。御前崎中学校の洋式化工事を前倒しすべきでは

答

御前崎中学校は、牧之原市との学校組合のため、今後、牧之原市と協議をしていきます。

問

来年度以降の小中学校のトイレ洋式化推進事業の財源として、「電源立地地域対策交付金」を用い、その補完としての「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業交付金」活用について

答

「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」では、トイレ洋式化推進事業には直接使出来ませんので、「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」の成果を中長期的に取り入れられるよう検討していきたいと思っています。

問

本年度2回目の「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業」の公募内容について

答

本年度2回目の公募では、市内公共施設への再生可能エネルギー導入可能性調査に応募し、採択されました。この調査は、市内37公共施設への導入可能性を調査するものです。今年度中に完了させ、来年度から、導入効果が高いところから、随時この交付金事業に応募する予定です。